

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)松井アーキメタル舞鶴工場新	階数	地上1F
建設地	京都府舞鶴市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条地域	平均居住人員	10人
地域区分	S地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年11月22日
敷地面積	3,823 m ²	作成者	牧野 研造
建築面積	2,152 m ²	確認日	
延床面積	2,132 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE=0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%
② 建築物の取組み: 51%
③ 上記②以外の: 51%
④ 上記+: 51%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 1.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合 本工場は従来のノコギリ型屋根工場を再解釈し、北向きハイサイドライトを8箇所設ける計画とし、自然採光・自然換気を積極的に行うよう配慮している。外壁の一部にもポリカーボネート折板を設け、昼光利用を行うことで省エネルギーに配慮している。また、工場の多い場所であることから、交通状況や既存のまちなみにも配慮している。</p>		
<p>Q1 室内環境 北側に向けたハイサイドライトを8ヶ所設けることで、安定した北側からの採光を行えるよう配慮した。ハイサイドライト部分のサッシは一部開閉可能とし、自然換気を行い、換気エネルギーの低減に配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能 工場はゆとりのあるスペースを確保し、安全に生産活動が行えるよう配慮している。床は機械の電源・コードができるだけ露出しないよう適切な間隔でビッドを設け、後の機械レイアウトの変更にも対応できるように配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 工場が多く点在する場所であるため、まちなみに合わせた概観計画とした。北向きのハイサイドライトは従来のノコギリ型屋根の工場と近くなるよう意図し設計している。</p>
<p>LR1 エネルギー ハイサイドライトによる自然採光、自然換気ができるよう配慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 節水型便器を採用した。内装を必要としない工場のため、極力外装材あらゆるし、省資源に配慮した。</p>	<p>LR3 敷地外環境 ゆとりのある車回しスペースや駐車場を設けることで、利用しやすさおよび近隣の交通状況に配慮した。全館空調を行わず、省エネルギーに配慮した。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される